## 【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出日】 平成21年6月22日

【事業年度】 第80期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

【英訳名】 KODAMA CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宇 川 進

【本店の所在の場所】 東京都台東区上野一丁目 1番12号(信井ビル)

【電話番号】 03(3834)0511(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 小 林 亜 夫

【最寄りの連絡場所】 東京都台東区上野一丁目 1番12号(信井ビル)

【電話番号】 03(3834)0511(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部長 小 林 亜 夫

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

#### 1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成19年6月28日に提出いたしました第80期(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日) 有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証 券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

#### 2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

注記事項

(連結貸借対照表関係)

(リース取引関係)

2 財務諸表等

注記事項

(貸借対照表関係)

(リース取引関係)

#### 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

# 第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(訂正前)

注記事項

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成18年3月31日)	当連結	:	
	/ 元 卍 4 6 7		
(平成16年3月31日) 1 このうち	(平成19± 1 このうち	∓3月31日)	
現金及び預金 50,000千円 (帳簿価額)	現金及び預金	50,000千円	(帳簿価額)
建物及び構築物 669,634 ( " )	建物及び構築物	605,635	
記載なし   記載なし   記載なし	起載なし	<u>505,655</u> 記載なし	、 <i>" ,</i> 記載なし
土地 743,509 ( " )	<u> </u>	743,509	( " )
計 1,463,144 ( " )	<u> </u>	1,399,144	( " )
は、短期借入金1,250,000千円及び設備資金借入金 634,750千円(長期借入金393,750千円、一年以内に 返済予定の長期借入金241,000千円)記載なしの担 保に供しております。  2 受取手形割引高 534,144千円  3 減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれ ております。  4 非連結子会社及び関連会社に係る注記 関連会社に対するものは次のとおりであります。 投資有価証券(株式) 36,979千円 その他の投資(出資金) 158,154  5 固定化営業債権は和議債権であります。	は、短期借入金1,250, 393,750千円(長期借 返済予定の長期借入 保に供しております 2 受取手形割引高 3 減価償却累計額には、 ております。 4 非連結子会社及び関連 関連会社に対するものに 投資有価証券(株式) その他の投資(出資金) 5 固定化営業債権は和記 6 保証債務 連結会社以外の会社のに て次のとおり保証を R+S Technik GmbH	一 000年 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	資一式 円含 う 借 円 場 処理 関端に 金年な ま す 入 に 借以し れ 。 に よ に よりの つお 日形の かっぱい かんりの かんりん かんりん かんりん かんりん かんしん かんしん かんしん アフト・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・

注記事項

(連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成18年3月31日)	当連結会計年度 (平成19年 3 月31日)
1 このうち	1 このうち
現金及び預金 50,000千円 (帳簿価額)	現金及び預金 50,000千円 (帳簿価額)
建物及び構築物 869,355 (")	建物及び構築物 917,908 ( " )
機械装置及び運搬具 495,605 ( " )	機械装置及び運搬具 682,022 ( " )
土地 924,026 (")	土地 957,991 (")
<u> </u>	<u> </u>
n1 <u>2,330,300</u> ( " )	n1 <u>2,007,921</u> ( " )
は、短期借入金1,250,000千円及び設備資金借入金	は、短期借入金1,250,000千円及び設備資金借入金
<u>695,020</u> 千円(長期借入金 <u>433,930</u> 千円、一年以内に	<u>611,990</u> 千円(長期借入金 <u>391,807</u> 千円、一年以内に
返済予定の長期借入金 <u>261,090</u> 千円) <u>及び社債</u>	返済予定の長期借入金 <u>220,182</u> 千円) <u>及び社債</u>
<u>250,000千円</u> の担保に供しております。	<u>250,000千円</u> の担保に供しております。
2 受取手形割引高 534,144千円	2 受取手形割引高 678,290千円
3 減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれ	3 減価償却累計額には、減損損失累計額が含まれ
ております。	ております。
4 非連結子会社及び関連会社に係る注記	4 非連結子会社及び関連会社に係る注記
関連会社に対するものは次のとおりであります。	関連会社に対するものは次のとおりであります。
投資有価証券(株式) 36,979千円	投資有価証券(株式) 6,000千円
その他の投資(出資金) 158,154	その他の投資(出資金) 217,232
5 固定化営業債権は和議債権であります。	5 固定化営業債権は和議債権であります。
6 保証債務	6 保証債務
連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し	連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し
て次のとおり保証を行っております。	て次のとおり保証を行っております。
R+S Technik GmbH 36,508千円	R+S Technik GmbH 40,220千円
(EUR 255千)	(EUR 255千)
上記の外貨建保証債務は、決算日の為替相場により円	上記の外貨建保証債務は、決算日の為替相場により円
換算しております。   7 会社が発行する株式	換算しております。 7
- イム化光1 する休式 普通株式 100,000,000株	/
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
合には、これに相当する株式数を減ずることと	
なっております。	
スラとのりよす。 発行済株式総数	
普通株式 30,154,411株	
8 自己株式の保有数	8
連結会社が保有する連結財務諸表提出会社の株式の	
数は、以下のとおりであります。	
普通株式 92,204株	
9	9 当連結会計年度末日の満期手形の会計処理につき
	ましては、手形交換日をもって決済処理しており
	ます。
	なお、当連結会計年度末日が金融機関の休日で
	あったため、次の当連結会計年度末日満期手形が、
	当連結会計年度末残高に含まれております。
	受取手形 3,578千円

(訂正前)

## 注記事項

項目	(自	前連結会計 平成17年 4 平成18年 3	4月1日		(自	当連結会計 平成18年 4 平成19年 3	4月1日	
リース物件の所有権 が借主に移転すると 認められるもの以外	リース物件の 計額相当額及	価償却累	リース物件の計額相当額及			価償却累		
のファイナンス・ リース取引		取得価額相当額(千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	期末残高相当額(千円)		取得価額相当額(千円)	減価償却累計額相当額(千円)	期末残高 相当額 (千円)
	機械装置及び 運搬具	37,154	25,511	11,642	機械装置及び 運搬具	37,154	32,942	4,211
	有形固定資産 「その他」 (工具器具備品)	370,448	216,218	154,230	有形固定資産 「その他」 (工具器具備品)	274,036	76,379	<u>197,656</u>
	無形固定資産 「その他」 (ソフトウェア)	136,813	<u>106,919</u>	29,893	無形固定資産 「その他」 (ソフトウェア)	18,209	12,431	<u>5,777</u>
	合計	<u>544,415</u>	<u>348,649</u>	<u>195,766</u>	合計	<u>329,399</u>	<u>121,753</u>	<u>207,645</u>
	未経過リース	ス料期末残る	 高相当額	,	未経過リース	ス料期末残る	高相当額	
	1 年以内	]	<u>178,213</u> ₹	-円	1 年以内 <u>129,404</u> 千円			-円
	1 年超		22,339	<i>"</i>	1年超 80,475 "			<u>"</u>
	合計		<u>200,552</u>		合計		<u>209,880</u>	
	支払リース料	<sup>抖、</sup> 減価償去	印費相当額	及び支払	支払リース制	料、減価償却	印費相当額	及び支払
	利息相当額				利息相当額			
	支払リー			<u>604</u> 千円	支払リース料 243,303千			
		費相当額		<u>310</u> 千円	減価償却費相当額 <u>232,836</u> 千円			
	支払利息			<u>742</u> 千円		は相当額	'	<u>517</u> 千円
	減価償却費材		正万法及()	利思相当	減価償却費材		正万法及()	
	額の算定方法   減価償却費相	•	· <del></del> :=		額の算定方法   減価償却費相		2 士:土	
	・リース期間			価質を零	水川川県が東省   同左	ヨ俄い昇ル	二刀冮	
		をミストック (法によって			197			
	利息相当額の		(0)) & )	0	   利息相当額の	算定方法		
	・リース料総		ス物件の取	得価額相	同左	7-1-131A		
	当額の差額							
	配分方法は	こついては	利息法に	よってお				
	ります。							

## 注記事項

項目	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)				当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)				
リース物件の所有権	リース物件の	の取得価額	相当額、減	価償却累	リース物件の	の取得価額	相当額、減	価償却累	
が借主に移転すると	計額相当額及	び期末残る	高相当額		計額相当額及	及び期末残る	高相当額		
認められるもの以外						T	T		
のファイナンス・ リース取引		取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)		取得価額 相当額 (千円)	減価償却   累計額   相当額   (千円)	期末残高 相当額 (千円)	
	機械装置及び 運搬具	37,154	25,511	11,642	機械装置及び 運搬具	<u>132,179</u>	<u>39,198</u>	92,981	
	有形固定資産 「その他」 (工具器具備品)	362,749	214,454	148,295	有形固定資産 「その他」 (工具器具備品)	247,729	70,539	177,189	
	無形固定資産 「その他」 (ソフトウェア)	140,641	107,796	32,844	無形固定資産 「その他」 (ソフトウェア)	34,796	<u>15,762</u>	19,033	
	合計	<u>540,545</u>	<u>347,762</u>	<u>192,782</u>	合計	<u>414,705</u>	<u>125,500</u>	<u>289,204</u>	
	未経過リース	未経過リース料期末残高相当額				未経過リース料期末残高相当額			
	1 年以内	1 年以内 <u>177,258</u> 千円				1 年以内 <u>135,302</u> 千円			
	1年超		<u>20,290</u>	<u>"</u>	<u>1年超 <u>158,985</u> "</u>			<u>"</u>	
	合計		<u>197,548</u>		合計		<u>294,288</u>		
	支払リース料	料、減価償却	印費相当額	及び支払	支払リース料、減価償却費相当額及び支払				
	利息相当額	- 444			利息相当額	- 444			
	支払リー			<u>885</u> 千円	支払リー			518千円	
		D費相当額		<u>123</u> 千円	減価償却費相当額 <u>237,470</u> 千円				
	支払利息		-	389千円		別相当額の第	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	337千円	
	減価償却費材   額の算定方法		<b>正</b> 力法及()	`利思相当	減価償却費材 額の算定方法		正力法及 <i>U</i>		
		-	· <del>-</del> :±				2 士:土		
	・リース期間			価頞を零	同左	コ領の昇ル	-/]/\		
		を言ったすが ほ法によって			192				
	利息相当額の		(0) ) & )	0	   利息相当額の	算定方法			
	・リース料総		ス物件の取	得価額相	同左				
	当額の差額								
	配分方法については、利息法によってお								
	ります。								

## 2 【財務諸表等】

(訂正前)

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成18年 3 月31日)				事業年度 9年3月31日)	
1 このうち 現金及び預金 50,0 建物 6 土地 7	円、一年以内に ) <u>記載なし</u> の担 (のとおり保証 千円	(i) )))) は 30 は 4 (k) を R+S ECHO 上記	このうち 現金及び預金 建物 土地 豆期借入金1,250 93,750千円(長期信 済予しておりま に供務の金融機関からの 行っております。 「echnik GmbH (EL AUTOPARTS(THAIL 1,26 (THB3	50,000千  605,63 743,50 1,399,14 ,000千円及び設備資 昔入金218,750千円、一 入金175,000千円)記載 す。 O借入に対して次のと 40,220千円	09 ( "   ) 44 ( " ) 1金借入内に ななしの担 こおり保証
3 受取手形割引高 534,144千 4 会社が発行する株式 普通株式 100,000,000株 ただし、定款の定めにより、株式の消劫 合には、これに相当する株式数を なっております。 発行済株式総数 普通株式 30,154,411株	]が行われた場	3 受取 4	(手形割引高	678,290千円	
5 自己株式の保有数 普通株式 92,204株 6 資本の欠損 資本の欠損の額は919,524千円でありま 7 配当制限 商法施行規則第124条第3号に規定する。 3,847千円であります。 8 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で各科目に含係会社に対するものは次のとおりて 売掛金 未収金 短期貸付金 長期貸付金 その他 9 固定化営業債権は、和議債権でありま 10	まれている関 あります。 16,386 506,351 240,000 31,250 8,209	区分 (f 千円 9 固)	会社に対するもの 売掛金 未収金 短期貸付金 長期貸付金 その他 定化営業債権は、利	, 人外で各科目に含まれ かは次のとおりであり 和議債権であります。 3手形の会計処理につり	ます。 19,791千円 168,468 240,000 261,000 15
		なお ため 度末	当事業年度末日7	済処理しております。 が金融機関の休日であ 末日満期手形が、当事 ります。 3,578千円	

## 注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度	当事業年度
(平成18年3月31日)	(平成19年3月31日)
1 このうち 現金及び預金 50,000千円(帳簿価客 建物 669,634 ( "	) 建物 605,635 ( " )
土地743,509 ( "計1,463,144 ( "は、短期借入金1,250,000千円及び設備資金借入金634,750千円(長期借入金393,750千円、一年以内に返済予定の長期借入金241,000千円)及び社債250,000千円250,000千円の担保に供しております。2 保証債務他社の金融機関からの借入に対して次のとおり保証を行っております。R+S Technik GmbH 36,508千円(EUR255千)ECHO AUTOPARTS(THAILAND) CO.,LTD.759,093千円(THB251,355千)上記の外貨建保証債務は、決算日の為替相場により円換算しております。	土地     743,509 ( "       計     1,399,144 ( "       は、短期借入金1,250,000千円及び設備資金借入金393,750千円(長期借入金218,750千円、一年以内に返済予定の長期借入金175,000千円)及び社債250,000千円の担保に供しております。       2 保証債務他社の金融機関からの借入に対して次のとおり保証を行っております。       R+S Technik GmbH 40,220千円(EUR255千)       ECHO AUTOPARTS(THAILAND) CO.,LTD.1,251,768千円(THB341,081千)       上記の外貨建保証債務は、決算日の為替相場により円換算しております。
3 受取手形割引高 534,144千円 4 会社が発行する株式 普通株式 100,000,000株 ただし、定款の定めにより、株式の消却が行われた場 合には、これに相当する株式数を減ずることと なっております。 発行済株式総数 普通株式 30,154,411株	3 受取手形割引高 678,290千円 4
5 自己株式の保有数 普通株式 92,204株 6 資本の欠損 資本の欠損の額は919,524千円であります。 7 配当制限 商法施行規則第124条第3号に規定する金額は、 3,847千円であります。	5 6 7
8 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている関係会社に対するものは次のとおりであります。 売掛金 16,386 未収金 506,351 短期貸付金 240,000 長期貸付金 31,250 その他 8,209 9 固定化営業債権は、和議債権であります。	未収金 168,468 短期貸付金 240,000 長期貸付金 261,000 その他 15 9 固定化営業債権は、和議債権であります。 10 当事業年度末日満期手形の会計処理については、 手形交換日をもって決済処理しております。
	なお、当事業年度末日が金融機関の休日であった ため、次の当事業年度末日満期手形が、当事業年 度末残高に含まれております。 受取手形 3,578千円

(訂正前)

## 注記事項

		 F <del> </del>				 F <del> </del>	
(自				(自 平成18年4月1日			
至 平成18年3月31日)							
1 借主側				1 借主側			
リース物件	の取得価額	項相当額、》	咸価償却累	リース物件	‡の取得価額	類相当額、》	域価償却累
計額相当額	額及び期末	残高相当額	湏	計額相当	額及び期末	残高相当額	頁
取得価額 期未残高 累計額 相当額 相当額 (千円) (千円) (千円)					取得価額相当額(千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)
機械及び装置	33,670	22,782	10,887	機械及び装置	33,670	<u>29,516</u>	4,153
車輌運搬具	3,484	2,729	754	車輌運搬具	3,484	3,425	58
工具器具 及び備品	370,448	216,218	154,230	工具器具 及び備品	274,036	<u>76,379</u>	<u>197,656</u>
ソフトウェア	<u>136,813</u>	106,919	29,893	ソフトウェア	18,209	<u>12,431</u>	<u>5,777</u>
合計	<u>544,415</u>	<u>348,649</u>	<u>195,766</u>	合計	329,399	121,753	207,645
未経過リー	ス料期末列	浅高相当額		未経過リー	- ス料期末列	浅高相当額	
1 年以[	内	<u>17</u>	<u>78,213</u> 千円	1 年以	内	<u>12</u>	<u>19,404</u> 千円
1 年超		<u>22</u>	2,339 "	-			) <u>,475</u> "
合計		200	),552 "	合計		209	,880 "
支払リース	、料、減価償	却費相当額	額及び支払	支払リース料、減価償却費相当額及び支払			
利息相当	額			利息相当	額		
支払リ-	-ス料	<u>23</u>	<u>80,604</u> 千円	支払リ	ース料	<u>24</u>	3,303千円
減価償却	印費相当額	<u>22</u>	20,310千円	減価償却費相当額 <u>232,836</u> 千円			
支払利息	息相当額	<u>1</u>	<u>10,742</u> 千円	<b>支払利息相当額</b> <u>8,517</u> 千			
		算定方法及	及び利息相			算定方法及	ひ利息相
	_, _, _,	<u> </u>					
			ᄔᆂᄺᇎᆂ		相当額の算	定万法	
				同左			
* *			, 0, ,	利息相当額	の算定方法	:	
			取得価額相	同左	***************************************		
の配分	方法につい	ては、利息	急法によっ				
	全 付当 機 車 エ及ソ ままり で	1 借至   1 付	1 借主側 リース物件の取得価額相当額、計額相当額及び期末残高相当額 取得価額 (千円) 機械及び装置 33,670 22,782 車輌運搬具 3,484 2,729 工具器具 370,448 216,218 ソフトウェア 136,813 106,919 合計 544,415 348,649 未経過リース料期末残高相当額 1年超 22 合計 200 支払リース料、減価償却費相当額 支払リース料 減価償却費相当額 支払リース料 調価償却費相当額 54 減価償却費相当額 54 減価償却費相当額 55 減価償却費相当額 22 支払リース期間を耐用年数とし、統 調価償却費相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法 減価償却費配当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法 1月。日間報の第二人物件の配当額の第二人物件の配当額の第一人の配分方法については、利息の配分方法については、利息を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を可能を	(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)  1 借主側 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 取得価額 累計額 相当額 (千円) 機械及び装置 33,670 22,782 10,887 車輌運搬具 3,484 2,729 754 工具器具及び備品 370,448 216,218 154,230 ソフトウェア 136,813 106,919 29,893 合計 544,415 348,649 195,766 未経過リース料期末残高相当額 1年以内 178,213千円 1年超 22,339 第合計 200,552 第 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 230,604千円減価償却費相当額 220,310千円減価償却費相当額の算定方法及び利息相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法 減価償却費相当額の算定方法・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。 利息相当額の差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっ	(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)  1 借主側 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 取得価額 期末残高相当額 (千円) (千円) (共円) (共円) (共円) (共円) (共円) (共円) (共円) (共	(自 平成17年4月1日 至 平成18年至 平成19年 1 借主側 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 期末残高相当額 (千円) 機械及び装置 33,670 22,782 10,887 車輌運搬具 3,484 2,729 754 工具器具及び備品 370,448 216,218 154,230 ソフトウェア 136,813 106,919 29,893 合計 544,415 348,649 195,766 未経過リース料期末残高相当額 1年以内 178,213千円 1年超 22,339 " 合計 23,484 23,399 未経過リース料期末残高相当額 支払リース料 減価償却費相当額 交払リース料 減価償却費相当額 交払リース料 減価償却費相当額 200,552 " 支払リース料 減価償却費相当額 20,310千円 支払利息相当額 220,310千円 支払利息相当額 220,310千円 支払利息相当額 220,310千円 支払利息相当額 200,552 " 対別・日本超 10,742千円 減価償却費相当額の算定方法 減価償却費相当額の第定方法 減価償却費相当額の第定方法 減価償却費相当額の第定方法 減価償却費相当額の第元方法 減価償却費相当額の第元方法 減価償却費相当額の第元方法 減価償却費相当額の第元方法 減価償却費相当額の第元方法 減価償却費相当額の第元方法 同左	(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日) 1 借主側 リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額 取得価額相当額のででは、利息相当額 (千円) (千円) 機械及び装置 33,670 22,782 10,887 車輌運搬具 3,484 2,729 754 工具器具 及び備品 370,448 216,218 154,230 タフトウェア 136,813 106,919 29,893 合計 544,415 348,649 195,766 未経過リース料期未残高相当額 1年以内 178,213千円 1年起 22,339 " 合計 240,5552 " 支払リース料 減価償却費相当額及び支払利息相当額 支払リース料 減価償却費相当額及び支払利息相当額 5払リース料 230,604千円減価償却費相当額 220,310千円支払利息相当額 10,742千円減価償却費相当額の算定方法及び利息相当額の算定方法。減価償却費相当額の算定方法、減価償却費相当額の算定方法、減価償却費相当額の算定方法・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。利息相当額の算定方法・リース物件の取得価額相当額の算定方法・リース料総額とリース物件の取得価額相当額の算定方法・リース料総額とリース物件の取得価額相当額の算定方法・リース料総額とリース物件の取得価額相当額の算定方法 同左 利息相当額の算定方法 同左 14 回移 14 回移 14 回移 15 回左 15 回左 16 回左 16 回左 16 回左 17 回左 18 回旋 1

## 注記事項

項目	(自			当事業 <sup>年</sup> 平成18年 平成19年	4月1日			
		平成18年	3月31日)			平成19年	3月31日)	
リース物件の所有権	1 借主側			n nv 1	1 借主側			n
が借主に移転すると	リース物件			‡の取得価額				
認められるもの以外	計額相当	額及び期末		<u> </u>	計額相当	額及び期末		[
のファイナンス・リース取引		取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	期末残高 相当額 (千円)		取得価額 相当額 (千円)	減価償却 累計額 相当額 (千円)	期末残高相当額(千円)
	機械及び装置	33,670	22,782	10,887	機械及び装置	<u>128,695</u>	<u>35,772</u>	92,923
	車輌運搬具	3,484	2,729	754	車輌運搬具	3,484	3,425	58
	工具器具 及び備品	362,749	<u>214,454</u>	148,295	工具器具 及び備品	247,729	70,539	<u>177,189</u>
	ソフトウェア	140,641	107,796	32,844	ソフトウェア	<u>34,796</u>	<u>15,762</u>	<u>19,033</u>
	合計	<u>540,545</u>	347,762	<u>192,782</u>	合計	<u>414,705</u>	<u>125,500</u>	289,204
	未経過リー	ス料期末列	<b>浅高相当額</b>		未経過リー	- ス料期末タ	<b>浅高相当額</b>	
	1 年以[	内	<u>17</u>	<u>7,258</u> 千円	1 年以	内	<u>13</u>	<u>85,302</u> 千円
	1 年超		<u>20</u>	) <u>,290</u> "	1 年超		<u>158</u>	3,985 <i>"</i>
	合計		<u>197</u>	',548 <i>"</i>	合計		294	1,288 "
	支払リース	料、減価償	却費相当額	領及び支払	支払リース	、料、減価償	却費相当額	領及び支払
	利息相当	額			利息相当	額		
	支払リ-	-ス料	22	9,685千円	支払リ.	ース料	<u>24</u>	7,518千円
	減価償却	印費相当額	<u>21</u>	<u>9,423</u> 千円	減価償却費相当額 <u>237,470</u> 千円			
	支払利息	息相当額	<u>1</u>	0,689千円	支払利	息相当額	<u>1</u>	<u>1,337</u> 千円
	減価償却費	量相当額の	算定方法及	及び利息相	減価償却費	貴相当額の	算定方法及	及び利息相
	当額の算	定方法			当額の算	定方法		
	減価償却費	相当額の算	定方法		減価償却費	相当額の算	定方法	
	・リース期	間を耐用年	数とし、例	桟存価額を	同左			
	零とする	る定額法に	よっており	ります。				
	利息相当額の				利息相当額	の算定方法		
	・リース料約				同左			
		差額を利息						
	の配分: ており:	方法につい ます。	1ては、利息	法によっ				